

令和4年1月28日

すいえんついでこうかい
燕市産業史料館で「水燕鋸工会 作品展」を開催
— 「和み」をテーマに熟練の金工作家の新作を展示します —

燕市は日本で唯一の鋸起銅器の産地です。その産地である燕市を主な拠点として制作を続ける、6人の金属工芸作家の集団「水燕鋸工会」による作品展を2月4日から開催します。毎年会員による渾身の力作が並ぶ本作品展。19回目の開催となる今回のテーマは「和み」です。6人の手が生み出す金属による癒しの表現をご堪能ください。

【「水燕鋸工会 作品展 ～和み～」の概要】

- 1.会 期：2月4日（金）～3月21日（月・祝）
※休館日：月曜日（3月21日は開館）
- 2.時 間：午前9時～午後4時30分
- 3.会 場：燕市産業史料館 企画展示室
- 4.内 容：水燕鋸工会は1986年に発足し、結成当時の会員が活動する燕市と分水町（現燕市）より一文字を用いて名づけられました。本作品展では、「和み」をテーマとした作品を展示します。細部にまでこだわった装飾など、全国でもトップクラスの熟練の金工技術が堪能できます。
- 5.展示数：67点
- 6.入館料：大人 400円、小・中・高校生 100円
※市内小中学生と付き添いの保護者1人は、ミュージアムパスポート展示で土・日・祝日無料
- 7.水燕鋸工会員：石高 靖男 氏、岡本 秀雄 氏、椛澤 伸治 氏、
高橋 純一 氏、早川 常美 氏、細野 五郎 氏



本件についてのお問い合わせ先
燕市産業史料館：齋藤
電話：0256-63-7666（直通）